



多彩な企画で盛り上がった秋田応援の集い

橋本さんの講演、サイン色紙のオークション…

多彩な企画、秋田を応援

本県出身者
NPO法人 都内で「集い」、180人参加

首都圏在住の本県出身者でつくるNPO法人「秋田ふるさと応援団」のチャリティイベント「スポーツ・文化・災害支援 秋田応援の集い」が4日、東京都千代田区のスクワール麹町で開かれた。約180人が参加し、読売新聞特別編集委員の橋本五郎さん（三種町出身）の講演や、本県ゆかりの著名人から寄せられたサイン色紙のオークションなど多彩な企画で楽しいひとときを過ごした。

「これからの日本・どうなるこれから」と題して講演した橋本さんは、今年発生した「歴史的な事件」として、ロシアのウクライナ侵攻と安倍晋三元首相銃撃事件を挙げた。ウクライナ侵攻で日本が突きつけられた教訓として

3位になった雄物川高男子バレーボール部に賞状を贈呈。オークションでは秋田商業高校出身でプロ野球やクルトの石川雅規投手らのサインが出品され、人気を集めた。

「応援の集い」は本県のスポーツ・文化活動を応援しようとする毎年開催。過去2年は新型コロナウイルス禍で開催を見送ったため実施は3年ぶり。オークションなどの収益金の一部は寄付する予定。8月の県内の大雨被害を受けて、今年は災害支援にも充てる考え。

（伊藤正孝）